

はっぴこどもえん  
えんだより  
2019 ねん  
10がつごら



5歳児 (ハートがいっぱい)



- ★ 運動会は、10月5日（土）渚中学校の体育館で行ないます  
10月4日（金）は前日準備で、職員が体育館へ荷物の搬入等を行ないます。  
可能な方は、お早めのお迎えにご協力をお願いいたします。
  
- ★ 11月1日（金）～11月15日（金）乳児クラスの保育参加を行なっています。  
（土曜日・14（木）を除く）  
詳細は後日、別途お便りを配布します。なお、個人懇談もこの期間に行なっております。ご希望の方はお申し出ください。  
幼児クラスで日程調整が出来ず参加できなかった方は、この時期でも参加可能ですので、ご希望の方はお申し出ください。

★8月に太田美穂が退職しました。

★9月より、新しい職員が入職しました。

初めまして。9月から入職し、にじ組の副担任をしています。  
まだまだ至らない点もあると思いますが、子ども達と一緒に成長できるような保育をできればと思っています。これからよろしくお願いします。

福岡 拓海

初めまして。子どもが大好きで、はっことども園のみなさんと遊ぶことをいつも楽しみにしています。入職した当日に、「日比先生。」と早速名前を呼んでくれたお友達もいてとても嬉しかったです。いろいろなクラスのお友達と仲良くなりたいなと思っていますので、気軽に声を掛けて下さい。よろしくお願いします。

日比 憲

## ～小児は大事～

園長 かたやま 片山

運動会へ向け、秘めた力を発揮していこうとする子供たちの姿が、観察される時期になってきました。それに応えようと職員一同も奮起しています。9月の懇談会では多くの保護者にご参加頂き、日頃の保育の様子をお伝えでき、貴重な意見を頂戴できる機会となりました。幼児教育・保育の無償化の制度が開始されるにあたり、園の重要事項に関する変更点等の説明もさせて頂きました。今月から新制度がスタートします。スタートすると様々な疑問などが生じてくる可能性があります。気が付かれたことがありましたらお声がけください。私達からも必要に応じてご連絡致します。

「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」のフレーズや各種報道の影響により人気が増しているように感じられる「ラグビーワールドカップ2019日本大会」ですが、先日ラグビーの強豪校である「東福岡高校ラグビー部」を視察し、藤田監督からチームビルディングに関する講演を聴く機会がありました。ラグビーでいかに強いチーム作りをするか、園運営において大切なコトである豊かなチーム作りのヒントに出来ればと考え拝聴しました。

経験年数が豊富で保育スキルの高い職員が集まったとしても、人間関係がギクシャクして妬みや僻みの渦巻く施設では、子供に悪影響を及ぼしてしまいます。

職員間で同僚性を高めながら教育・保育の質向上を追求し続けることが理想であり、私たちの理念や方針であるとも言えます。

藤田監督曰く、日々「心・技・体」への意識を高めることは当然ではあるものの、それだけでは全国大会でベスト8くらいまでしか勝てる見込みがない。全国大会で優勝するためには、「心・技・体」に「生活の質」を加えてこそ優勝が目指せるチームとなれるとのことでした。例として、部室やトイレの掃除、合宿中の食事の準備などの仕事は「クラブの顔」である3年生がメインでやりきり、2年生、1年生は協力者だそうです。確かに男の部室とは思えないほど整理整頓が行き届いており、カバンも靴もキレイに並べられていました。部室というイメージを大きく超え、部室独特の臭いもなく快適な空間となっていました。これらは窓が割れた車を放置していると、その周辺は犯罪や不法投棄が増える、地下鉄の落書きを消したら犯罪が半減したという分析（ブロークンウィンドウ理論）から習っておられ、部室が乱れているとチームワークがうまくいかなくなるという意識が選手達にも根付いているように感じました。また、一日の練習時間は最長2時間、練習中「だらだらするな」という体育会系特有の気合主義から、勝てない時期を乗り越えた逆転の発想で、質の高いトレーニングを短時間集中してやりきる。失敗してもできるまで繰り返さない。試合前に普通なら大声を出して気合を入れる円陣は、円になって静かに目を閉じ、精神統一を行う。ある意味で、これまでのスポーツにおける多くの「当たり前」を覆しながら名実ともに最強を目指す姿勢とそれを継続して実行していることに驚きました。

小さな準備の積み重ねが成功へと導き、小さな約束を守ることの積み重ねが信頼を生む！チームの合言葉だそうです。はっとこども園は風通しの良い、人間関係良好な職場だと自負しておりますが、彼らから学び、さらにチーム力を高め、子供たちへ至らせたいと想います。

## 特別な舞台“運動会”

副園長 ふじわら  
藤原

10月5日（土）の運動会が目前です。先月の園だよりでご紹介した練習を各クラス重ねている真っ最中であり、いよいよ大詰めにかけています。毎日の練習の中では、子供たちがそれぞれの嬉しさや悔しさ、喜びや葛藤を抱いている姿を目にします。またそれと同時に、クラスとして一体感のようなまとまりも徐々にでてきたように思います。

練習では、子供同士のやりとりがメインとなるため、特に5歳児かもめ組では、練習過程の中でたくさんのドラマがあります。“やりきる組体操”はその名の通り、練習中も本番当日も、大半の技を「誰と組むのかは決めない」「その場で子供たちどうしが判断し、形をつくる」というものです。ほとんど子供任せなので、「誰と組む」「自分が上、下」と、トラブルや葛藤する場面が多々見られますが、そこにこの組体操の意味があります。友達とのやりとりがうまくいかなかった悲しさ、上に乗ることができなかった悔しさ、成功を体験する嬉しさ、クラス一体となって形づくりができた時の喜びなど、たくさんの経験をしていきます。また、揉めるたびに話し合ったり、人数集めも練習を重ねるうちに誰と組んでも気にならなくなったり、阿吽の呼吸でやりきったりする姿も見られます。本番は、すんなりといく以上に、戸惑いながら揉めながらも互いに形をつくりきる姿を評価していただきたいです。

運動会当日は、保護者の方も私たち職員も、子供たちが存分に力発揮する姿を期待し、そのまなざしを送ることでしょう。しかし、その子なりの力発揮は私たち大人が考えているものと違うのかもしれない。当日は、大人でも緊張するくらいたくさんの視線を受けるため、その視線の多さに、フィールドへ出ないと言ったり、照れ隠しからふざけてしまったりする姿があるのかもしれない。しかし、たとえどんな姿であっても、その姿や気持ちの表れをありのまま受けとめていただきたいと思います。そこに至る過程や経験が、何より大切です。そして、子供たちの大きながんばりに対して、大きな拍手と声援をお願いします。また、運動会の種目には、親子競技や保護者競技もありますので、保護者の皆さまも動ける服装でお越しください。わが子や他の子供たちと触れ合ったり、大人同士が協力しあったり、“人と関わり合うこと”に視点をおいた種目にしていますので、ご参加をお願いします。子供たちと一緒に動き、楽しんでもらえると幸いです。

運動会が終わると、いつも子供たちがひと回り大きくなったように感じられます。運動会という特別な舞台を経験し、乗り越えた達成感や成就感が、子供たちを育ててくれるのかもしれない。「子供どうして関わり合ってやりとげた経験」は、子供たちにとって「大きな力」として、その子の胸の内に残るものだと信じています。

# 台所の先生から

いわぶち  
岩淵

こんどう  
近藤

## 《箸の持ち方の練習をします》

そら組・かもめ組を対象に、正しい箸の持ち方を楽しく練習していきます。はっとこども園の給食では、にじ組には、スプーンとフォークを出し、そら組・かもめ組に箸を出しています。（スプーン・フォークを取りに来る子もいます）個人差はありますが、3歳前後から上手に指を使えるようになってきます。箸にも興味が出てきますので、練習を始める目安になります。箸を練習する前にスプーンが『握り持ち』ではなく、『鉛筆持ち』で使えているかを確認します。現在、にじ組のほとんどの子は、スプーンを鉛筆持ちに出来ていますが、何人かは、握り持ちで食べています。しかし声をかけると、鉛筆持ちに持ち直して食べることが出来ています。そら組は半数ほどが、お箸を正しく持てていません。その都度持ち方を伝え、「見て！見て！」と意欲的に挑戦しています。かもめ組は、ほとんどの子が上手に持つことが出来ています。

### 【正しい持ち方・・・下記の図を参考にお試してください】

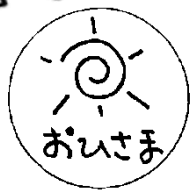
まず、①上のお箸の1本を親指、人差し指、中指で鉛筆持ちします。②下の箸を親指、薬指で固定します。③箸の先端を合わせて下の箸は動かさず、上の箸を上下に動かします。上手にできれば、豆や細いものも挟めるようになります。箸を上手に持てるようになると、子供たちは嬉しいですし自信が付きます。上手に持てたことを褒めてもらうと嬉しくなってもっと頑張ろうとします。はっとこども園でも、マカロニや大豆や小豆をつまむゲームをしたり、正しい姿勢で食べる練習をしたりします。ご家庭でも箸の持ち方に注目してみてください。



ご家庭で子供さんの食について困っていることや悩んでいること、栄養面のことや、メニューレシピのことなど、いつでも気軽に調理室をのぞいて相談に来てください。



くまのたけな



〇さい 1さい  
おいさまぐみ

ふくやま  
福山  
たけな  
竹中  
おおしま  
大嶋  
いとう  
伊藤

## 9月の振り返り

### サーキット

平行棒を渡るユニットに挑戦する姿が増えてきました。棒の上を自分なりに工夫して、片足を地面につけて渡ってみたり、置いてあるコーンを頼りながら手を置いて渡ってみたりしています。そして跳び箱に登り、跳び降りることを好んで繰り返している姿も見られました。

### 戸外あそび

気温が高いため、あまり戸外あそびをすることができませんでした。しかし、毎日お集りで子供たちと窓から天気を見ているのですが、天気に少しずつ興味ができていくのか子供たちから「あめ」「くも」など教えてくれるようになっていきます。

### コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉

粗大あそびで身体を動かしました。大型クッションとマットで作った山を、手や腕の力を使って乗り越えようとする姿や、はしごをハイハイして渡ったり、保育者の手を握り立って渡ったりする姿が見られました。また、ポットン落としの玩具では、小さい穴にも入れることができるようになってきています。ままごとの玩具をカバンに入れてみるなど、指先を使って上手に遊ぶ姿が見られました。

〈黄・緑グループ〉

ままごとでは、コップとお皿を机の上に上手に並べてみたり、お鍋にチェーンリングなどを入れてキッチンでグツグツとお料理したりする姿が見られるようになってきました。保育者やお友達に「どうぞ」と料理を振る舞う姿も見られます。構成コーナーでは、動物の積み木を使って、個々でつばやきながら遊んでいる姿が見られます。動物の名前も、少しずつ覚えて言えるようになってきています。

### 感触あそび

先月と同様に感触あそびを楽しみました。寒天あそびでは、手だけでなく足で寒天の冷たさや感触を楽しむことができました。氷あそびでは、氷の冷たさを楽しんだり製氷器に氷を詰めてみたり、机の上をアイスホッケーのように滑らせて大喜びの子供たちでした。片栗粉あそびでは、フワフワした粉から、徐々に水を足してドロドロしていく感触を楽しみました。水を加えてドロドロになると抵抗してしまうお友達もいました。

### 食育

ぶどうの食育がありました。ぶどうを見て「まるまる」と興味津々の子供たち。手のひらで転がしたり、指先で感触を味わったりしていました。皮を剥いたときの色の違いに驚いていましたが、嬉しそうに食べていました。





# 10月の活動



## サーキット

巧技台の上り下り→マット山をよじ登る→三角マットを転がる→はしごを渡る→すべり台を駆け下りる・平行棒を渡る→平均台を跨いで進むユニットを行ないます。

## 戸外あそび

〈赤・青グループ〉その日の気温や体調に合わせて、主にミニ園庭で遊びたいと思います。土や水、泥、エノコロ草やオシロイ花などの自然物に触れていくことで五感を刺激できるようにしていきます。

〈黄・緑グループ〉園庭で築山登りをしたり、大型遊具で遊んだりして身体を動かしていけるようにしていきます。砂場遊びでは、コップに砂を詰めたり型抜きをしたりしながら、ごっこ遊びができるように関わっていきたいと思います。

## コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉

お友達を意識して関わろうとする姿が少しずつ見られるようになってきています。保育者が仲立ちになり、一緒に遊ぶ楽しさを伝えていきます。玩具では、成長段階に合わせて転がるものや音の鳴るものを追いかけたり、積み上げた積み木を崩すことを楽しんだりしていきます。

〈黄・緑グループ〉

お友達に声を掛けて、関わろうとする姿が見られるようになってきています。動物の積み木に興味が出てきており、動物園を作ったり、動物でごっこあそびをしたり、遊びを広げていくことができるようにしていきます。おままごとでは、赤ちゃん人形のお世話の仕方などを引き続き一緒に経験していきます。

## 感触あそび

粘土や絵の具に触れていきたいと思います。粘土は、小さくちぎったり伸ばしてみたり、細長くしてみたり丸めてみるなど、子供たちの発想や、つぶやきを大切に遊びを広げていきたいと思います。絵の具あそびでは、赤・青グループのお友達は、ダンボールに水で指や手の平を使って描くことを楽しみたいと思います。黄・緑グループのお友達は、排出あそびを一度経験しています。前回より一層、手の平で絵の具の色の変化や広がり方などに注目しながら、感触を楽しむことができたらと思います。

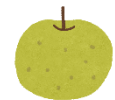
## わらべうた

♪くまさん くまさん ♪にぎりぱっちり ♪かれっこ やいて

『にぎりぱっちり』は、ハンカチのような柔らかい布を使って、ヒヨコやヒツジなどの動物を表現することができます。最後に手を広げたときに子供たちの嬉しそうな表情が見られるわらべうたの一つです。上記のわらべうたを繰り返していきながら、お友達同士でも触れ合っていけるように関わっていきたいと思います。

## 食育

10月は梨を予定しています。梨に実際に触れながら色にも注目したいと思います。包丁で切ったときの中身の断面や食べたときのシャキシャキした感触を楽しみたいと思います





2さい  
なごさぐみ

かしはら やまおが ふじむら  
梶原・山岡・藤村



## 9月の振り返り

### 食育

～ぶどうの皮むき～

お調理の先生がデラウェアと巨峰とマスカットを持ってきてくれ、興味津々だった子供たち。お調理の先生から巨峰を見せてもらおうと「紫！」や「黒！」と色を教えてくださいました。次に皮をむいてみると「緑色だ！」と言いつつ外の違いに気付くことができました。そしていよいよ食べてみると「おいしいや」「すっぱい」「種が入っていない」と喜んだり、驚いたりといろいろな表情が見られました。見たり、皮をむいたり、食べたりと秋の味覚のぶどうに親しむことができました。

### 色水遊び

食育で使ったぶどうの皮で色水遊びをしました。水が入っているビニール袋の中に3種類のぶどうの皮を入れ、揉んだり振ったりして遊びました。すると、「色が紫色になったよ」「みて！どンドン色が出てきた」など少しずつ色が変わってきたことに気づき、保育者やお友達同士で会話を楽しむことが出来ました。マスカットやデラウェアなどは揉んでみても色が薄くでにくかったのですが、巨峰は濃い色がでて子供たちも嬉しそうにしていました。

### のりあそび

模造紙に四角と三角の画用紙を貼って遊びました。最初に保育者が見本を見せると「凄い！」や「マジックみたい」とビックリした表情をしていました。実際に触てみると、「ふわふわしてるね」や「冷たくて気持ちいい」など楽しそうに触っていました。紙を2枚重ねて貼ってみたり、のりをたくさん使って貼ってみたりくっついたことを喜んだり、様々な遊び方をしていました。

### 運動会

運動会に向けて、ゲーム遊びを行なってきました。2人組で一緒にできることを目指し今は、パフリングやボールの交換などを行っています。保育者が、子供たちの前でお手本をしてみると子供たちは「早くしたーい！」などとしたくてうずうずしている様子でした。いざ行なってみると楽しそうにゲーム遊びをしている姿が見られました。







## 「10月の活動内容」



### うた（今月の教材曲）

「とんぼのめがね」

今月はよくリトミックで遊んでいる「とんぼのめがね」です。朝のお集まりや子供たちの会話の中で、とんぼのめがねの歌詞に子供たちと一緒に注目していきたいと思っています。1番の歌詞には「とんぼのめがねはみずいろめがね」2番の歌詞には「ぴかぴかめがね」とあります。「ぴかぴかめがねってどんなめがねだろうね？」と対話をしたり、実際のとんぼを外に見に行くなどをしたり、壁面や写真を見ながらとんぼについて興味を深めていきます。

その他、「うんどうかいのうた」「バスごっこ」を歌います。

### わらべうた

「くまさんくまさん」「ずくぼんじょ」

### 食育

「栗」

秋の食べ物という事で、栗の食育をします。湯がいた栗を2つに割って、スプーンですくい栗の硬さや食感を味わいます。また、栗のイガや皮などの感触を知ったり、栗を使った色々な食べ物にも興味を持てるように関わっていきます。



### 絵本

「とんぼのあかねちゃん」

絵がとてもかわいらしく、親しみやすい絵本です。くもの巣にひっかかりそうになってハラハラしたり、新しい友達ができたりと、シーンの展開がリズムカルで飽きない絵本です。



### 楽器遊び

今まで行なってきた音遊びでは、身体を動かしながら楽器を鳴らして遊んできました。今月は今まで聞いてきたカエルやセミ、秋になると出てくる鈴虫やマツムシなどの虫の鳴き声を、楽器で表現し奏でて遊びます。

### 粘土

子供たちは、よく粘土を食べ物に見立てて遊んでいます。丸めたり長細くしたり平らにしたりすることが上手になってきた子供たちと、今月から食欲の秋ということで引き続き食べ物に見立て遊びをしたいと思います。「秋の食べ物って何だろう？」など会話を楽しみながら活動をしていきます。





## 9月の振り返り

さわね いすみ のうそう  
澤根・和泉・能宗

### うた 「うさぎのダンス」(9月の教材曲)

今月は「うさぎのダンス」を歌いました。はじめは「♪タラッタラッタラッタ」のところが難しそうでしたが、慣れると上手に歌うことができていました。「♪つき」の歌ともリンクし、「うさぎさんは月にいるのかな?」「月で何をしているのかな?」と想像を膨らませていました。また、『おつきみうさぎ』の絵本からも、月の不思議さを感じていました。

そして更に表現遊びにも発展し、うさぎの動きをみんなで表現しました。ジャンプをしたり、お友達と手をつないで歩いてみたり、「そうさんやさるのダンスする!」と、子供たちの想像がどんどん膨らんでいました。

### 描画

#### 「3原色の排出」

好きな色の絵の具を手の平に貰い、画用紙に絵の具を広げていきました。躊躇なく、思い切り絵の具を画用紙にのぼしていく子、少し戸惑いながらも指でちょんちょんと描いていく子などさまざまでした。また、お友達の取り組む姿を見てだんだんと手の平を使いたす子もいました。それぞれ思い思いに、絵の具の感触や色の混ざり方を楽しんでいました。



### ふれ合い遊び

運動会に向けて、2人・3人・6人・12人で「うらら」や「トントンパチパチ」など、仲間集めやふれ合いあいをしました。音を聞き分けて表現あそびをしたり、自分たちの力でお友達を見つけて集まることが出来ました。迷っているお友達に教えてあげる姿もありました。

### ゲーム遊び

箱あそびから、2人組のゲーム遊びに発展しました。側面に、それぞれ「1」「2」「3」と書かれている段ボールを用意し、それを順番に積み上げます。数字だけでなく、赤色の面と青色の面があるので、それも合わせるのがルールです。2人で協力しながら運ぶペアや、1人ずつで手際よく積み重ねるペアもあり、阿吽の呼吸で取り組みました。

### サーキット

「走って巧技台をグージャンプ」・・・隣で一緒にリズムを取りながらすることで両足を揃えて跳ぶことができていました。

「足付け周りからの足抜き周り降り」・・・ほとんどの子が補助なしで出来るようになっていきます。まだできない子も頑張って挑戦しています。

**食育**お月見団子を作りました。今回は、かぼちゃを混ぜて黄色いお団子にしました。お団子作りは2回目だったので、子供たちも要領を得ているようで、上手にこねていました。お湯で茹でる際には、「上(高いところ)から入れると(お湯がはねて)あぶない!」と言って、そっと入れる姿がありました。





## うた

### 「まつぼっくり」(今月の教材曲)

今月は「まつぼっくり」を歌います。お散歩に出かけ、季節の変化を感じながら、まつぼっくりをたくさん見つけたいと思います。たくさん集まったら、それらを転がして遊びます。床の上を転がしたり、机の脚を片側だけ立てたり、坂道をつくって転がしてみたりします。

♪その他、「うんどうかい」「むしのこえ」「やきいもグーチャーパー」を歌います。



## 描画

### 「まつぼっくりであそぼう」

まつぼっくりがたくさん見つかったら、絵の具を付けて転がし、まつぼっくりの足跡を作って楽しみたいと思います。画用紙の上をうまく転がるかな?スタンプ遊びのようになるかな?子供たちの言葉を拾いながら、楽しみたいと思います。

## ふれ合い遊び

引き続き運動会に向けて、2人・3人・6人・12人で仲間集めやふれ合いあいをしします。とても上手にピアノの音を聴き分けて身体を動かすことが出来ています。運動会の大舞台では緊張し、いつもの姿とは違うかもしれませんが、子供たちの頑張る姿に大きな声援と拍手をお願い致します。



## 散歩

10月は、たくさんお散歩に行き、季節の変化を感じたいと思います。園外でのルールや、歩き方も伝えていきます。

## サーキットポイントレッスン

鉄棒・・・「つばめ」腕支持をしっかり意識して、足を伸ばして行ないます。  
高さのある台からグージャンプ・・・タイミングよく体をコントロール出来るように行ないます。

## 異年齢活動

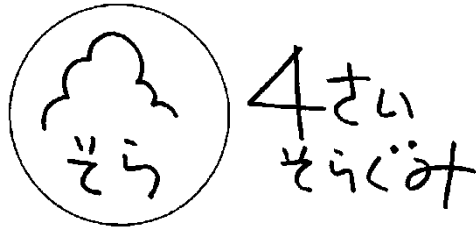
懇談会でもお話させていただきましたが、運動会が終わったら、グループ内の机のメンバーを自分たちで考えて決めたいと思います。どのような意見が出て、どのような姿が見られるのか、とても楽しみです。そして、グループで相談しながら、異年齢で活動する時間も増やしていきたいと思っています。

## お当番活動

給食の配膳を、今までそら組・かもめ組さんがしてくれていましたが、にし組も一緒に行なっていきます。「どれくらい?」と、貰いに来たお友達とやりとりしながら、配膳していきます。エプロン・三角巾・マスクをロッカーの中にご用意ください。

お当番の週は、金曜日(マスクは毎日(健康調査票のマスク置き場に置いています)にお持ち帰りください。ご協力よろしくお願いたします。





はしもと ぶんおか  
橋本 福岡

## 9月の振り返り

### うた

「とんぼのめがね」秋の訪れを感じさせるトンボが、園庭の空を見上げるとたくさん飛んでくるようになりました。飛んでいる姿を目で追ったり網で捕まえようとしていたりする子供たちは、誰からともなく♪とんぼのめがねは・・・と歌が広がってっていました。水色めがね・ピカピカめがね・赤色めがねと、トンボになった気分を味わうために、セロファン紙を使って色々な景色を観て楽しみました。

### 描画

とんぼのめがねづくり・・・セロファン紙を使って遊んでいると「今度はトンボ作ろう」と子供達から声が上がりました。トンボの体と目は、牛乳パックやトイレットペーパー芯、羽根は色画用紙で、形や枚数、模様も自分のイメージのままに工夫しながら作りました。色々な個性豊かなトンボが出来上がりました。

絵の具の描画（青空・夕焼け空）・・・画用紙を水で湿らせて、そこにトンボが飛んでいる青い空や夕焼けをイメージしながら自分で選んだいくつかの色を重ねて描きました。

### ふれ合い活動

パラバルーン・・・自分達がしている姿が映っているDVDを観ては、自分や友達のいいところやもっとこうの方がいいと思うところを話し合い、25人の仲間のかや気持ちを一つにして「♪友よ」の曲にのせてウェーブ・パラシュートなど色々な動きに挑戦しています。仲間って素敵！力を合わせるってすごい！と感じていけるように、対話していきます。

かけっこ・エンドレスリレー・・・「よーい・ドン！」の合図に合わせて、元気いっぱい全力で走り抜けていく姿は、真剣そのもので、一人一人誰もが自信に満ちています。

2人組競争（とんでくぐって）・・・2人組で交代しながら飛んだりくぐったりを繰り返し、次の友達にバトンを繋いでいき、2チームで勝敗を競い合います。自分がしている時だけでなく、「頑張れー！頑張れー！」と友達の姿も一生懸命に応援しています。

### サーキット運動

「跳び箱：助走からの両膝乗り・両足乗り」「マット：前回り起き」  
両足をそろえて勢いよく、ロイター版を踏み切り、跳び箱の上に乗ることができるようになってきました。

### 水遊び

園庭での虫探し・・・まだまだ暑い日が続く、なかなか戸外遊びが出来なかった日が続きましたが、耳を澄ませば草の中から虫の声が聞こえたり、園庭の空を気持ちよさそうにトンボが飛んだりしていました。早速、網を片手に虫探しをしたり、捕まえたバッタやカマキリを飼育ケースの中で観察したりしました。お片付けになると「また明日なー」と逃がしていました。キャッチ＆リリースの精神は蝉捕りから引き続き、子ども達の中で守られていました。命を大切にする気持ちが育ってきています。

### 食育

月見団子作り・・・日本の伝統的な行事の一つの十五夜に因んで月見団子を作りました。今回の道具は“自分の手”。「混ぜる・捏ねる・ちぎる・丸める」という工程を5～6人一組になり、力を合わせて作りました。モチモチに出来上がったお団子にきな粉をかけて食べました。「おいしい～！」友達と力を合わせて作った団子は、特別美味しかったようです。



# 10月の活動内容

うた

## みのりのあき（今月の教材曲）

たくさんの野菜や果物、きのこにお米など収穫の秋を向かえます。そんな収穫を喜ぶ人々の思いがたくさん詰まった、ちょっとユニークな歌です。そらぐみでも春にサツマイモを植え、毎日、葉や蔓が段々と大きく伸びていく様子を見ては、お芋が出来ることを楽しみにしてきました。今月は収穫や食べることはもちろん、蔓や掘ったお芋で遊んだり、長さや重さを比べたり、絵をかいたり、いろいろな経験をしていきたいと思います。

その他、「くだものれっしゃ」「やきいもグーチャーパー」を歌います。



描画・製作



サツマイモの蔓や葉っぱ・土の中の芋を、収穫したり遊んだりした経験から、絵の具でダイナミックに描きます。また、個々に描くだけではなく、友達と一緒に大きな紙の上で、共同画を楽しみたいと思います。

異年齢活動



今までも給食や園庭やうみの部屋での遊びの時に、異年齢での関わりを経験してきました。今回は自分達でグループ分けをし、にし・そら・かもめの異年齢の友達と一緒に、近くの公園に散歩に行ったり、一緒に同じ遊びを楽しんだりします。

サーキット運動



今月のポイント

「跳び箱：」「マット：」

園内園外探索（秋バージョン）

園庭や近くの公園での自然とのかかわり

9月は残暑が厳しく、ゆっくりと戸外で遊ぶことができませんでした。今月も引き続き、園庭や公園での自然とのかかわりを楽しみたいと思います。トンボが飛んでいたり、草の中にバッタやカマキリを見つけたり、こおろぎの音が聞こえてきたりと、いろいろな虫との出会いがあります。そんな虫たちを探したり観察したり、秋の草花や実を見つけたりして、自然物を使った遊びや観察など、遊びを通して秋の自然に興味や関心をもてるようにしていきたいと思います。

食育

お芋のクッキング・芋・茎



収穫したサツマイモを使って、どんなお料理の方法があるのか話し合い作り方を考え、クッキングをしていきたいと思います。また、葉っぱの下の柔らかい茎（芋茎<sup>すいき</sup>）も食べられるのです。茹でてアクを取ってから食べることも経験したいと思います。



5さい  
かもめぐみ

なかに  
中谷

## 9月の振り返り

### うた

「つき」を3番まで歌いました。「でたでた月が♪」と最初の出だしの部分は、月が出てきた様子をイメージしながら綺麗な声で歌いました。お月見についての絵本を読みながら、お月見の日はお団子やススキをお供えすることや、十五夜は一年で一番月が綺麗に見える日のことを言うのだと知りました。「昨日どんなお月様だった？」と子供たちに尋ねてみると、「まんまるだった」「大きかった」「うさぎが餅つきしてた」など様々な答えが返ってきました。また、お月見団子を作って実際にみんなで食べました。

### 描画

手と筆を使って自由に絵を描きました。「好きな絵を描いていいよ」と伝えると、「何描こう・・・」と悩みながらも自分で描きたいものを決め、イメージを持って絵画を楽しんでいました。色作りも上手にしており、お友達の絵を見て「その色きれい！どうやって作ったん？」と会話をしながら行なっていました。

### サーキット運動

鉄棒・・・少しの補助で逆上がりができるようになってきました。  
跳び箱・・・しっかり足を広げて跳ぶことができます。

### 組体操

24人全員で力を合わせて一つのものを作り上げていく中で、たくさんお友達とぶつかったり、譲り合う気持ちが生まれたり、すぐに気持ちを切り換えて最後までやりきったりと、様々な姿がみられました。どうすればかっこいい形が作れるのか、上手な土台はどのようにすればよいのか、最後の大技では誰がどの位置をするのか、子供たち同士でたくさん話し合いました。お友達のかっこいい姿を見つけたり、自分の意見を主張したり、人の意見を聞いたりみんなで組体操を作り上げてきました。本番では温かい声援と拍手をお願いいたします。

### 競技

「台風の日」を行ないました。大人の見本のビデオを見て、どのように走れば速く進めるのか意見を出し合いました。すると「小さくなって（背を屈めて）回ると速い」「内側の人はコーンの近くを回ると速くできる」など、様々なポイントに気付いていました。その話し合いを踏まえ、実際に屋上でお稽古をしてみると子供たち同士で「そこもっとこうしたらいいよ！」とポイントを意識し、お互いに声を掛け合いながら行なう姿がありました。

### リレー

まずは3人1組になって、スタート地点が4箇所ある「エンドレスリレー」を行ないました。ずっと走り続けなければいけないので、子供たちは大盛り上がり。「頑張れー！」と応援の声もたくさん聞こえました。その中で腕をしっかり振ることの大切さ、スムーズなバトンの受け渡しを学びました。また、公園に行き、広い空間でも走ってみました。本番を意識してくじ引きでチームに分かれ、チーム対抗戦も行ないました。

## 10月の活動内容



### うた

・おばけのかぼちゃ ※今月の教材曲

→10月と言えば世間はハロウィンです。歌や絵本から由来を知り、ハロウィンについて知識を深めながら行事を楽しみたいと思います。「か、か、かぼちゃ♪」の部分ではリズムに乗って跳ねて歌ったり、「おばけのかぼちゃ♪」の部分ではおばけを連想させるような声で歌ったりと、歌い方を変えながら歌います。その他「きのこ」「世界中のこどもたちが」を歌います。

### 描画

・かぼちゃ

→かぼちゃを観察する、匂う、食べるなど五感を使って絵画を行ないます。かぼちゃの外側と内側の色や手触りの違いを知り、自分で感じたことをそのまま絵の具で表現します。赤・青・黄の3色を使ってかぼちゃの色を作り出すことで色彩感覚も養います。

### サーキット運動

・ポイントレッスン

→鉄棒「逆上がり」

跳び箱「開脚飛び（低めの縦・高めの横）」

### 食育

かぼちゃを使った食育をします。かぼちゃの種類や花、種、成長していく様子を知り、興味・関心を深めたいと思います。実際にかぼちゃを持って重さを感じたり、中身を見てみたりと、かぼちゃにたくさん触れる経験を通して絵画やクッキング、ハロウィン製作にも繋げていきます。

### クッキング

「かぼちゃの丸ごとグラタン」を作ります。かぼちゃを丸ごとくり抜き、野菜を炒めてかぼちゃの器に入れ、上からチーズを乗せてオーブンで焼きます。かぼちゃの甘さを味わってほしいと思います。

### ハロウィン製作

ハロウィンに向けて仮装グッズを作ったり、お菓子を作ったり製作活動を行ないます。当日は、実際に自分達で作ったものを使って仮装をして「トリック・オア・トリート！」と園内を練り歩きます。また、ボディペインティング用の絵の具を使って大変身したいと思います。

### 散歩

涼しくなってきたので、たくさん散歩に出かけて秋探しをします。気温の変化や紅葉などの自然の変化、空の変化などに目を向けながら、季節が変わっていく様子を子供たちと共有して楽しみたいと思います。



# ～今月の乳児環境～

おかの  
岡野

9月は、「食欲の秋」をテーマにし、秋の食べ物の写真を壁面にしました。子供たちは写真に載っている食べ物に興味を持ち、食べる仕草をしながら遊んでいました。

おひさま組では、コスモスを写真とイラストを交えて貼りました。子供たちは、指差して興味を持ってくれたり、さまざまな種類のコスモスを掲示することで秋の雰囲気を感じれる空間づくりをしました。

なぎさ組では、壁面を貼る際に「一緒に貼ってもいい？」とお手伝いしてくれる子もいてテーマのぶどうをたくさん貼りました。ぶどうの関連資料も掲示し、知識も深まりました。

10月は季節に関連することだけではなく、子供たちが今、興味を持っていることにも目を向け壁面や資料、天井環境を作っていきたいと思います。



## 《壁面環境》

花：コスモス／キンモクセイ／オシロイバナ

季節の写真：とんぼ／秋の虫／かぼちゃ／栗／梨／きのこ

## 《天井環境》

季節の飾り物：トンボ／オレンジや茶色を使ったモビール

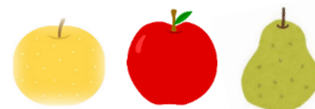
## おひさま組

### テーマ：天気

天気に興味を持ち始めた子供たち。いろいろな形の雲や夕焼け空、雨などの写真を飾ります。また、秋は月もきれいに見えるので月の満ち欠けがわかるような写真も取り入れようと思います。窓に本物の写真を貼ることで外と見比べ、お集まりや室内遊びの時のやりとりのひとつになればと思います。

### テーマ：梨

今月の食育が梨ということで、壁面や天井環境として飾る予定です。梨の他にもりんごや洋ナシなど、仲間集めをして興味が湧くような掲示をします。





## なぎさ組

### テーマ：とんぼ

今月の教材曲である「とんぼのめがね」とリンクさせていきます。「とんぼのめがねは水色めがね〜♪」と歌詞にあるように、水色めがね・ピカピカめがね・赤色めがねの3種類のとんぼの目を拡大したものを壁面や資料として飾ります。目をピックアップすることで、より一層、歌詞を意識して歌うことができるので楽しく壁面などを見ながら歌ってほしいと思います。また、天井環境としてとんぼを吊り下げ、部屋を飛んでいるように飾っていきます。



## 共通

### テーマ：秋の食べ物

先月に引き続き、今月も秋の食べ物を中心に飾っていきます。壁面の内容を少し変え、新しい写真にしたり、栗や柿など先月にはなかったものを加えたりしていきます。きのこ（マツタケ・ヒラタケ・シイタケなど）をそのままの形で切り、壁に沿わせて貼っていき、興味が沸くようにしていきます。



### テーマ：構成コーナー

おひさま組は、構成コーナーの中でも、動物人形で遊ぶことが盛り上がっています。保育者と一緒に動物園を作ったり、動物の名前を言ったりする姿があるので、コーナーの壁面として王子動物園や動物の写真を貼り、遊ぶ中でやりとりが広がるようにしていきます。

なぎさ組は、積み木や線路、ブロックなどひとつひとつの玩具で遊び込んでいる姿があります。作ったものを写真に収め、子供たちの目に留まるように壁面や資料として飾っていきます。

# 今月の幼児環境

やまだ  
山田

## “10月のテーマ”<色とりどりの秋>

～黄/紺/緑/を基調とした色彩～

### ：壁面環境：

植物写真：マーガレット/ガーベラ

季節の写真：紅葉/食べ物（柿、栗、かぼちゃ、さつまいも）

階段：紅葉した葉

### ：天井環境：

山の部屋/風の部屋：紅葉した葉

階段踊り場：ハロウィン

### ：コーナー環境：

ねんどコーナー

↳遊び素材の増加

見立て写真の増加



## お知らせ

秋にちなんだ、かぼちゃ、さつまいも、まつぼっくりなどを実際に触ることができ  
るコーナーを設置します。本物に触れること  
で、大きさや形、重たさや質感などを感  
じ、五感を通じて季節を感じることを  
できるようにします。



# はっとの庭

## “はたけ”

農家のせがれの指導の基、はっとの畑では夏野菜を大収穫することが出来ました。台風や夏の暑さにも耐えて巨大に育ったきゅうりや、大量に実ったピーマンと大豆。調理の先生と相談して給食の献立に入れてもらい、美味しくいただきました。種から蒔いて育てた米も、すくすく育ち、もうすぐ収穫できるほどです。

これから冬野菜の種まきもしますので、どれくらい収穫が出来るのかとても楽しみです。



## “かだん”

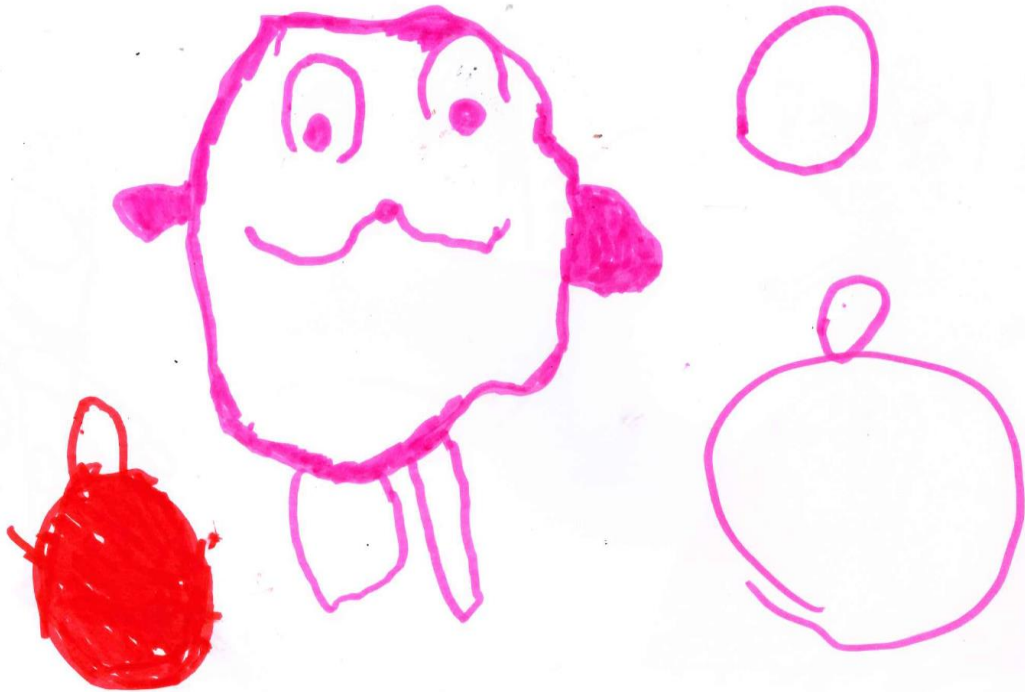
遊具奥にある大きな花壇に、“ヒメツルソバ”という花を植えます。この花は、寒暖差に強く丈夫な種類で、一年を通じて咲く花です。葉っぱに緑と黄緑のしましま模様が入ったり、可愛いピンクの丸い花を咲かせたり、秋には紅葉したりと、たくさん楽しませてくれます。ちぎって飾り物や漬して色水を作るなど、遊びのバリエーションも増えるので、たくさん咲くのが楽しみです。



## “あきび”

園庭の雨どい遊びがとても盛り上がっています。築山の斜面を利用して坂道を作ったり、机やタイヤを用いて高低差を付けたりと、子供たちはどうやったら水が勢いよく流れるのかなど、研究者になっている様子がみられます。そこで、竹の雨どいの数を増やし、遊びのさらなる発展をねらいます。長い竹、短い竹を用意して様々な形に組めるようにします。





絵：3歳児（無題）

社会福祉法人種の会

幼保連携型認定こども園 はつとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：[hat@tanenokai.jp](mailto:hat@tanenokai.jp)

URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部

Mail：[tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp](mailto:tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp)